

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

| 分野                          | 景気の先行き判断   | 業種・職種  | 景気の先行きに対する判断理由  |
|-----------------------------|------------|--|---|
| 家計<br>動向<br>関連<br><br>(北海道) |            | -  | -   |
|                             |            | 商店街（代表者）   | ・今後については、地元客による夏物衣料品の購入、観光客による土産の購入などが期待でき、多くの業種で売上の微増が見込める。また、当商店街のフリーWi-Fiの整備が完了する予定であるため、来街者の増加が見込まれ、特に飲食店などで売上を伸ばすことが期待できる。                           |
|                             |            | 商店街（代表者）   | ・これから観光のオンシーズンに向かうため、今後についてはやや良くなる。   |
|                             |            | 一般小売店〔土産〕<br>（経営者）   | ・この30年間はバブル崩壊、リーマンショック、東日本大震災、熊本地震と悪いことが出そろったが、これほど悪いことが続くことはないと思われるため、今後についてはやや良くなる。一方、現在の一番の問題は人手不足で会社が成り立たなくなりつつあることであり、零細企業でも外国人従業員を採用できるような仕組みが望まれる。 |
|                             |            | 一般小売店〔土産〕<br>（経営者）   | ・4月は夏の観光シーズンを控えた春先ということもあり、外国人観光客もやや落ち込んだが、今後は富良野や函館などを訪れる外国人観光客が徐々に増えることになる。国内客も少しずつ上向いてくるような雰囲気を感じられる。  |
|                             |            | 一般小売店〔酒〕（経営者）  | ・4月は最悪の売上であったが、2～3か月後は観光シーズン突入という好材料も控えているため、売上は増えることになる。今月と比べるとかなり良い数字を見込めると期待している。  |
|                             |            | 百貨店（担当者）   | ・周辺に新しい商業施設ができたことで街に活気が始めている。   |
|                             |            | 百貨店（販売促進担当）  | ・北海道でも桜の便りが聞こえてくる季節となり、これからますます春夏衣料の動きが活発になる。また、前年と比べてゴールデンウィークの曜日並びも良く、人の流れが一層活発になると見込める。  |
|                             |            | 百貨店（営業販促担当）  | ・前年は冷夏であったことで衣料品、雑貨などのシーズンアイテムが苦戦したが、今年は例年並みの天候が見込まれていることから、若干の反動増が見込める。これまで苦戦が続いていた婦人服の減少幅が落ち着いてきたことも好材料である。   |
|                             |            | スーパー（店長）   | ・今年に入ってから4月まで少しずつではあるが、販売量の右肩上がりが続いていることから、今後の4～5月の創業祭セールを中心に集客効果が期待でき、景気もやや良くなる。   |
|                             |            | スーパー（店長）   | ・婦人服、紳士服など、これまで不振だった衣料品の売上が上向き、前年を上回ることが期待できる。  |
|                             |            | スーパー（役員）   | ・6月に酒類の値上げが行われるため、5月に駆け込み需要が発生し、一時的に酒類の売上がプラスになることが見込まれる。   |
|                             |            | 衣料品専門店（店長）   | ・来客数が回復傾向にあることに加えて、早くもクールビズ商材が稼働を開始していることから、客の購買が落ち込むことにはならない。  |
|                             |            | 乗用車販売店（従業員）  | ・2～3か月後にかけての新型車投入を待ち、車の購入を控えている客がみられるため、4～5月の売上が厳しい分、その反動で盛り返すことが期待でき、景気はやや良くなる。  |
|                             |            | 観光型ホテル（スタッフ）   | ・今後については、需要につながるような国内の大型報償旅行が見込まれるため、好調に推移する。また、ゴールデンウィークの日並びが良いことで予約も順調に推移している。  |
|                             |            | 旅行代理店（従業員）   | ・芝桜などの花観光や夏場の観光ハイシーズンに向かうため、国内客及び外国人観光客の増加が見込める。また、ひがし北海道広域観光周遊ルートに関する情報発信が増えてきているなど、個人客ニーズへの対応が進んでいることもプラス要因となる。   |
|                             | 旅行代理店（従業員） | ・旅行の本格シーズンとなり、繁忙期を迎えるため、今後についてはやや良くなる。   |   |
|                             | 商店街（代表者）   | ・地方都市は中小零細業者が多く、売上が増えるような状況になく、従業員の給料が上がることも見込めないため、今後も厳しい状況はまだまだ続く。   |   |
|                             | 商店街（代表者）   | ・経済の先行きが不透明な中、北朝鮮情勢などの懸念材料もあるが、現状から景気は変わらないまま推移する。   |   |
|                             | 商店街（代表者）   | ・外国人観光客の入込が増えているものの、消費動向は今一つである。ただ、落ち着いた消費行動が行われているように見える部分もあり、現状が標準的な買物動向だととらえれば、まだ好調のまま推移しているとみられ、今後もこのままの状態が続くことが期待できる。 |   |

|                |  |
|----------------|--|
| 商店街（代表者）       | ・夏まつりの売上は期待できるが、その後は落ち込むことが懸念される。  |
| 百貨店（売場主任）      | ・ここ数年、同じような状況が続いていることから、世界情勢が緊迫したり、紛争が始まるなどの特殊要因が生じない限り、景気が劇的に良くなったり、悪くなったりすることはない。4月だけをみれば、景気の上向き兆候を感じられたが、3か月先まで継続しているかは疑問であり、微増微減を繰り返しながら、現状の景気が継続することになる。  |
| 百貨店（役員）        | ・現状から、景気がやや悪くなるのが自然な流れとみられるが、企業努力によって現状維持のまま推移することが期待できる。  |
| スーパー（店長）       | ・6月に酒税法が改正されることもあり、客の節約志向は強まることになる。5月に多少の駆け込み需要が生じるとみられるが、景気を押し上げるほどの効果までは見込めない。   |
| スーパー（店長）       | ・景気が変動するような要因が見当たらないため、今後も変わらないまま推移する。   |
| スーパー（企画担当）     | ・来客数の伸び悩みが続いているが、これは人口減少によるものというよりも、客の来店頻度が低下していることが大きな要因である。極力余計なものを買いたくないという消極的な消費行動がうかがえることから、景気は今後も変わらない。  |
| コンビニ（エリア担当）    | ・人口減少の影響で今後も来客数の増加が見込めないため、競合店の閉店などの要因がない限り、マーケットの拡大が厳しい状況にある。   |
| コンビニ（エリア担当）    | ・現状では景気が回復する兆しが全くみえない。基幹産業である漁業の回復や天候要因がない限り厳しい状況にある。  |
| コンビニ（エリア担当）    | ・今のところ、景気が良くなる理由も悪くなる理由も見当たらない。  |
| コンビニ（エリア担当）    | ・依然として天候要因や販促によるぶれが大きく、普段の日の売上の引上げがみられないため、今後も変わらないまま推移する。   |
| 衣料品専門店（店長）     | ・客単価も伸びず、来客数も増えないため、今後も景気は変わらない。   |
| 家電量販店（経営者）     | ・ここ数年、4～6月の売上が伸びない傾向が続いている。製品が壊れないと買換えない客が増えていることから、今後も厳しいまま変わらない。   |
| 家電量販店（店員）      | ・公共工事、災害復旧工事などが行われているが、景気が良いとは感じないため、今後については天候次第の面がある。   |
| 乗用車販売店（経営者）    | ・前月に引き続き先行指数である新車受注が、高水準であった前年並みの水準を維持していることから、こうした傾向は当面続く。  |
| 乗用車販売店（経営者）    | ・景気が良くなる要因も悪くなる要因も見当たらないため、今の状況が続く。  |
| 乗用車販売店（従業員）    | ・来客数、販売台数共低迷している。前年実績を維持するのが精一杯の状況であり、今後も景気は変わらない。   |
| 乗用車販売店（従業員）    | ・新型車効果が続くことを期待しているが、期待ほどの伸びは見込めない。   |
| 自動車備品販売店（店長）   | ・4月の新車受注や整備の件数が前年並みであることから、今後も景気は変わらない。4～6月の四半期でみても前年並みの数字が見込まれる。  |
| その他専門店〔造花〕（店長） | ・北海道における経済対策が不十分なため、今後も景気は変わらない。   |
| 高級レストラン（経営者）   | ・以前と比べれば円安傾向にあるため、今後も様々な物の値上げが見込まれる。また、経営側の立場からは、最近では光熱費の値上げに加えて、人手不足への対応で給料も値上げしなければ人が集まらないなど、経費の負担増が続き、利益の出ない状況が続くなど、全てにおいて景気が上向き要素が見当たらない。都市部の建設業などの景況感が良いのかもしれないが、地方の景気が良くなることまでは見込めない。また、今夏も台風による被害を受けることになれば、ますます不景気となるため、心配である。 |
| 旅行代理店（従業員）     | ・ここ2～3か月の動きはやや良くなっているが、まだ先行きは不透明であり、この先2～3か月も同様の状況が続くか疑問である。   |
| 旅行代理店（従業員）     | ・新規の問い合わせ件数などに大きな変化がみられないため、今後も変わらない。  |
| 旅行代理店（従業員）     | ・景気が良くなるような材料が見当たらない。旅行業界の景気は朝鮮半島の情勢やヨーロッパのテロの動向などにより左右されることになる。   |
| タクシー運転手        | ・乗務員不足による稼働率低下の影響がますます大きくなってきているため、今後も4月と同じような状況が続く。   |

|                             |                              |  |
|-----------------------------|------------------------------|--|
|                             | タクシー運転手                      | ・例年、閑散期となる時期のため、今後の販売量増加は望めない。   |
|                             | タクシー運転手                      | ・この先2～3か月で景気が良くなったり、悪くなったりする材料が見当たらないため、今後も変わらない。  |
|                             | タクシー運転手                      | ・今後、観光客に動きが出てくるとみられることから、景気が回復することを期待している。   |
|                             | 通信会社（社員）                     | ・残業や長時間労働などの企業側の問題に対する労働環境の変化もあり、従業員の時間的余裕ができてくるとみられるが、金銭的余裕が追い付かないため、景気が上向くことまでは見込めない。                            |
|                             | 観光名所（従業員）                    | ・今後については、外国人観光客の増加につながるような豪華客船の寄港ラッシュが続くことから、大いに期待しているが、北海道新幹線の開業効果が少しずつ落ち着きを見せ始めていることから、全体的にはプラスマイナスゼロで推移することになる。 |
|                             | 観光名所（職員）                     | ・前年を上回る来客数が続くなど、好調を維持している。外国人観光客の増加が大きな要因となっているため、今後も引き続き好調に推移することが見込まれる。  |
|                             | 美容室（経営者）                     | ・以前よりも売上が増加しているが、周りの雰囲気からこれ以上の増加は難しいとみられるため、当分は現状維持のまま推移する。  |
|                             | 美容室（経営者）                     | ・全体の来客数や新規客数に伸びがみられても、その状況が続かないため、今後も変わらないまま推移する。  |
|                             | その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員） | ・外国人観光客を含めた個人客が増加傾向にあることで、団体客の目減りが抑えられており、今後も同様の状況が続く。   |
|                             | 住宅販売会社（経営者）                  | ・株価が一進一退であり変わらない中、金利低下が追い風となっているが、アパート需要が一巡することになり、今後も大きな変化のない状況が続く。   |
|                             | コンビニ（オーナー）                   | ・今後も人手不足、競合店増加が見込まれるなど、売上アップにつながるような兆しはみられない。  |
|                             | その他専門店〔医薬品〕（経営者）             | ・医療費が増加する一方で、経営は厳しくなっているのが現実である。国民皆健康保険制度が続く限り、現在の状況が続くのではないかと心配している。  |
|                             | 高級レストラン（スタッフ）                | ・今後の予約状況が芳しくなく、やや悪い状況にある。国内情勢に加えて、米国や近隣諸国の動向、外国人観光客の減少、高齢者の将来への不安など、外食産業にとって向かい風の強い状況にある。                          |
|                             | 高級レストラン（スタッフ）                | ・予約の入り方がやや鈍くなっている。   |
|                             | タクシー運転手                      | ・災害復旧工事の中でも緊急性の高いものが一段落したことに加えて、夜の人出も期待できないことから、今後についてはやや悪くなる。   |
|                             | タクシー運転手                      | ・今後の予約状況や問い合わせ件数などから、景気は若干下向きになる。  |
|                             | 住宅販売会社（経営者）                  | ・北朝鮮問題が長引くことになれば、客が大きな投資を控えるとみられるため、分譲マンションの購入なども様子見することになり、市況は冷え込むことになる。  |
|                             | 観光型ホテル（役員）                   | ・朝鮮半島情勢が緊迫化する懸念があることから、外国人観光客を中心に来客数の減少が見込まれる。また、北海道では、2～3か月先も含めて、年内の集客に結び付くような大きなイベントなどが無いため、景気は悪くなる。             |
| 企業<br>動向<br>関連<br><br>(北海道) |                              |  |
|                             | 建設業（経営者）                     | ・ゼロ国債工事、翌債工事など、3月に国の土木工事を中心にかなりの量が発注されており、これから工事が動き出すことになる。建築工事についても、これから官民で発注が予定されており、稼働が活発になるため、景気はやや良くなる。       |
|                             | 建設業（従業員）                     | ・新規着工の大型建築工事のく体工事や継続大型建築工事の設備工事、仕上工事が佳境を迎えることになる。ただ、労務者不足の影響が心配される。  |
|                             | 金融業（従業員）                     | ・公共投資並びに外国人観光客の消費による景気押し上げ効果が見込めるため、今後についてはやや良くなる。   |
|                             | 食品品製造業（従業員）                  | ・今後も現在と同様の売上状況が続くことになる。  |
|                             | 家具製造業（経営者）                   | ・外的な不安要素があまりにも多すぎるため、市況を予測しにくい面があるが、当面は現状のまま推移する。  |
|                             | 輸送業（支店長）                     | ・繁忙期に差し掛かる時期であるが、スポット輸送の見積が低調なことから、今後への期待があまり持てない。   |
|                             | 輸送業（営業担当）                    | ・今後も農産物の輸送量減少は続くが、夏期需要に向けての飲料関連の輸送により減少分を穴埋めできるとみられるため、景気は変わらないまま推移する。   |

|                   |                          |   |
|-------------------|--------------------------|---|
|                   | 司法書士                     | ・前年の同時期と比較して、多少の伸びがみられることから、今後も変わらないまま推移する。ただ、明確な裏付けがあるわけではない。  |
|                   | 司法書士                     | ・2020年の東京オリンピックまでは、東京一極のみで景気の良い状況が続くため、地方においては景況感の変化がないまま推移する。  |
|                   | コピーサービス業（従業員）            | ・今後しばらくは現状のまま変わらずに推移する。   |
|                   | その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）   | ・災害復旧に伴う公共工事が下支えとなり、今後も好況を維持することになる。  |
|                   | その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当） | ・売上が前年を10%以上上回る現在の状況が夏ごろまでは続く。  |
|                   | 食料品製造業（従業員）              | ・ここ数か月で販売量が前年を下回る月が出始めているため、今後についてはやや悪くなる。  |
|                   | 通信業（営業担当）                | ・今後の計画について慎重な見方をする取引先が増加している。当社の今期の業績も前年から減少する前提でプランニングしている。  |
|                   | その他非製造業〔鋼材卸売〕（役員）        | ・現状、景気が上向くような明るい材料は見当たらないため、今後の景気はやや悪くなる。   |
|                   | x                        | -   |
| 雇用<br>関連<br>(北海道) | -                        | -   |
|                   | 求人情報誌製作会社（編集者）           | ・前年夏の台風被害の復旧工事に加えて、大規模病院や観光施設の新築が予定されていることから、今後への期待感がある。ただし、現在の人手不足が求人足を引っ張ることを心配している。  |
|                   | 新聞社〔求人広告〕（担当者）           | ・今後については、天候が順調に推移すると見込まれており、そのことが基幹産業である農業にとってプラスとなる。また、観光客の入込が徐々に回復していることも追い風となる。  |
|                   | 学校〔大学〕（就職担当）             | ・前年度に新卒採用を充足できていない企業が多かったことから、企業の採用意欲が更に上向くとみられる。学生にとっては今年も追い風が吹いている。   |
|                   | 人材派遣会社（社員）               | ・今年の夏までは、現状維持のまま推移する。流通業、観光業の人材ニーズは高止まりするとみられ、営業職の人材ニーズも高まるものとみられる。   |
|                   | 求人情報誌製作会社（編集者）           | ・政治や経済情勢、地政学的な要因などで先行きが不透明なことから、当面しばらくは現状維持のまま推移する。   |
|                   | 職業安定所（職員）                | ・今後も月間有効求人数が前年を上回り、月間有効求職者数が前年を下回る傾向が続く。  |
|                   | 職業安定所（職員）                | ・月間有効求職者数が増加している状況の下で、新規求人数が減少傾向から増加に転じたものの、今後、企業進出や事業活動拡大などの新規求人の増加につながる動きがないことから、現状のまま推移する。   |
|                   | 職業安定所（職員）                | ・観光関連は前年ほどの好況ではないにしても、当分の間は好調が続くとみられる。一方、水産加工業は漁の状況次第の面がある。また、北海道新幹線開業という動きがあっても、人口減少がいまだに続いており、経済規模の縮小という基調に大きな変化はみられないため、全体的には今後も変わらないまま推移する。 |
|                   | 職業安定所（職員）                | ・有効求人倍率が7か月連続で前年を下回ったことから、今後の動向が懸念される。  |
|                   | 求人情報誌製作会社（編集者）           | ・求人数が過去2年の水準を下回って推移している。人手不足は続いているが、中小企業にとっては長期的にかかる採用コストが負担になっている可能性があり、この状況が続くと景気にマイナスの影響を与えることになる。   |
|                   | 求人情報誌製作会社（編集者）           | ・人材難から閉店、廃業を選ぶケースがみられるようになってきていることから、今後についてはやや悪くなる。   |
|                   | x                        | -   |